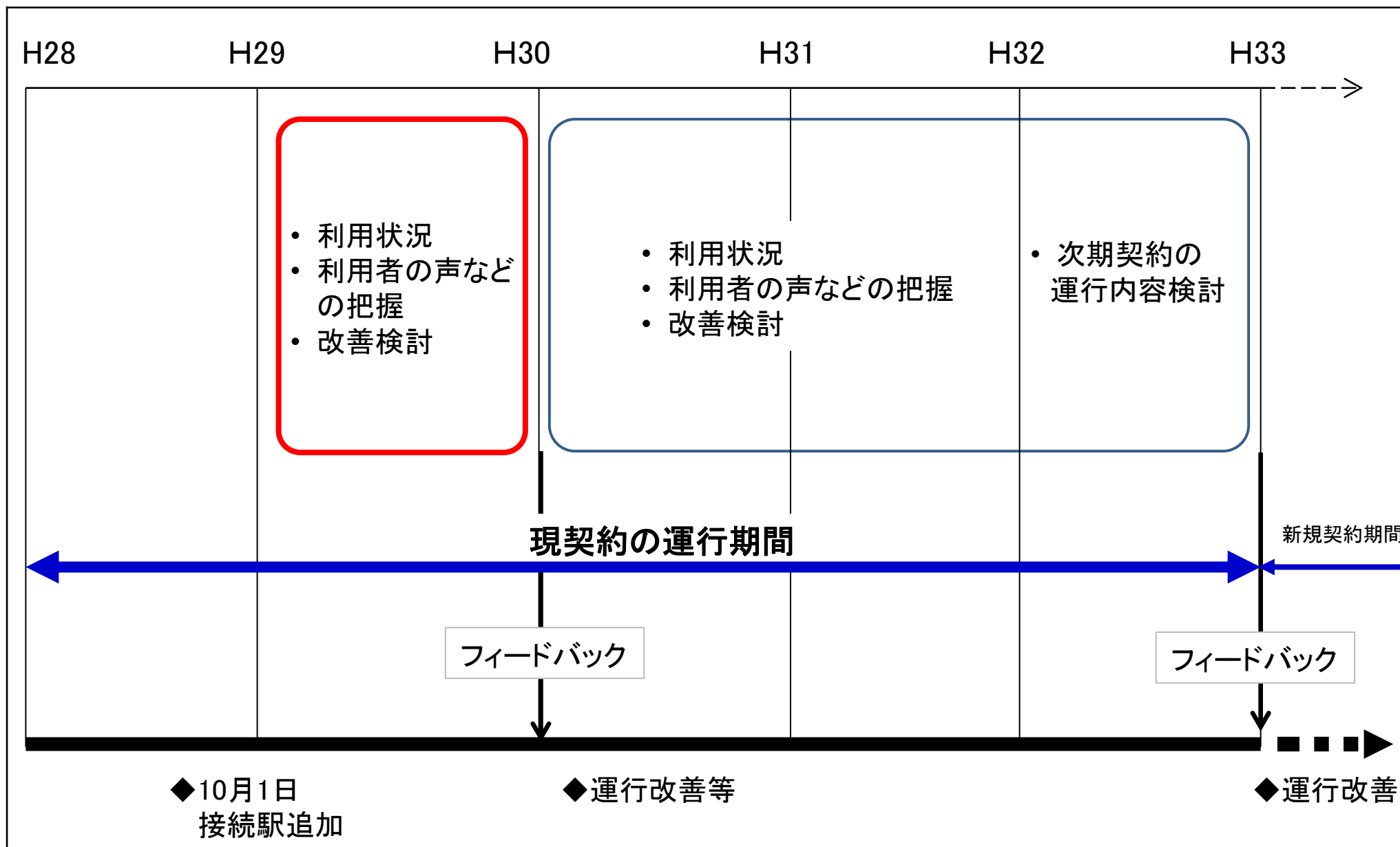


乗合タクシーについて

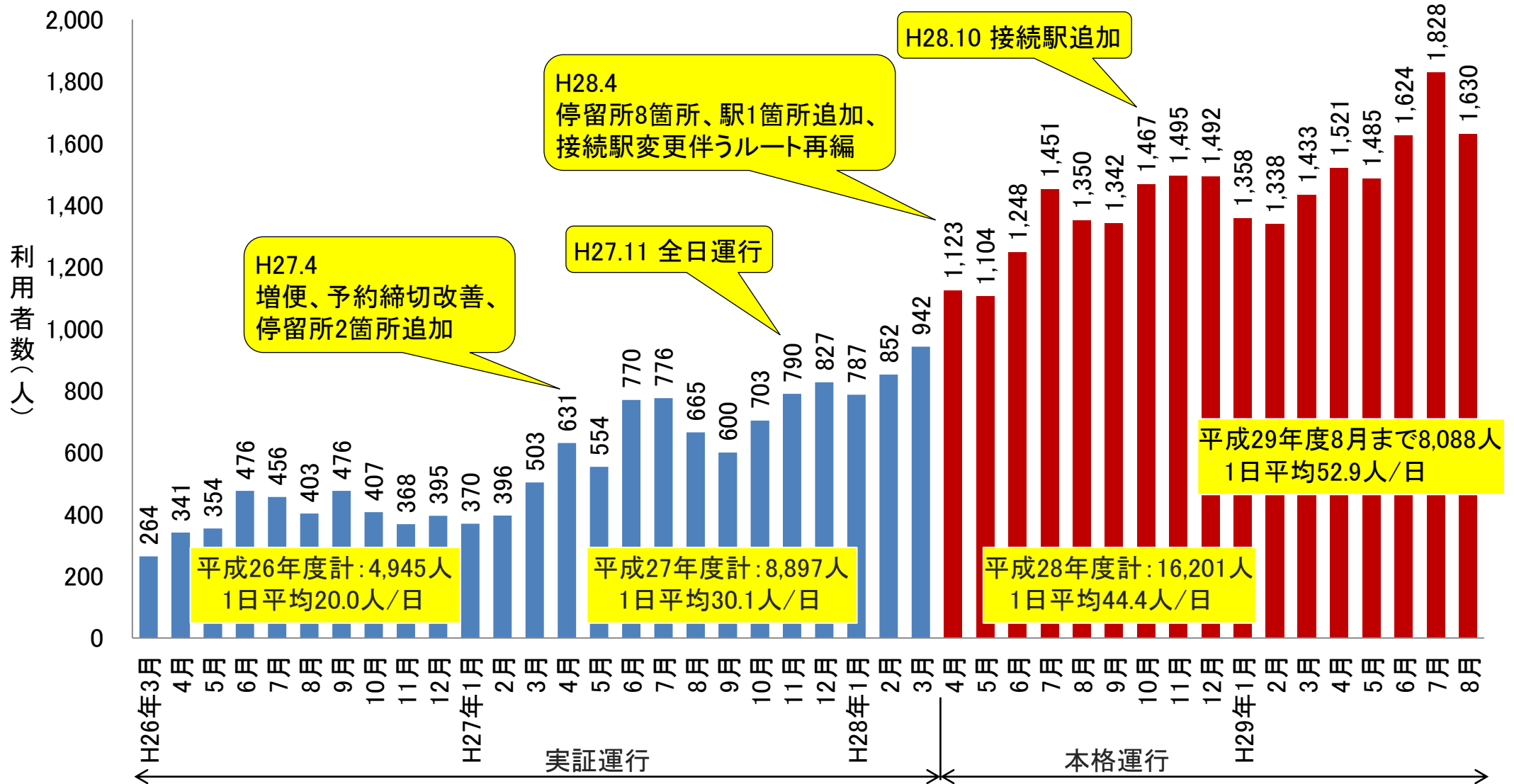
■事業の経過

平成26年3月10日	実証運行開始	<ul style="list-style-type: none">・運行方式はデマンド型の区域運行・公共交通空白地域と鉄道駅を結ぶ9ルート・平日運行、4便/日・使用車両は、乗客定員4名のセダン型タクシー・予約受付期間は1週間前から3時間前まで・運賃は、大人300円、小人150円、おでかけ応援カード提示で100円、障害者等は大人150円・小人80円
平成27年4月1日	運行改善	<ul style="list-style-type: none">・増便(4便/日⇒5便/日)・予約受付期間の延長(締切を3時間前まで⇒2時間前まで)・停留所2箇所追加
平成27年11月1日	全日運行開始	<ul style="list-style-type: none">・運行日の拡大(平日運行⇒全日運行)
平成28年4月1日	本格運行開始	<ul style="list-style-type: none">・停留所8箇所、駅1箇所追加、接続駅変更を伴うルート再編
平成28年10月1日	接続駅追加	<ul style="list-style-type: none">・本格運行時に接続駅を変更したルートで、元の接続駅を追加

■本格運行のスケジュール



■利用者数の推移



- 運行改善や周知等により利用者数は年々増加(1日平均はH26:20.0人⇒H28:44.4人と約2.2倍)

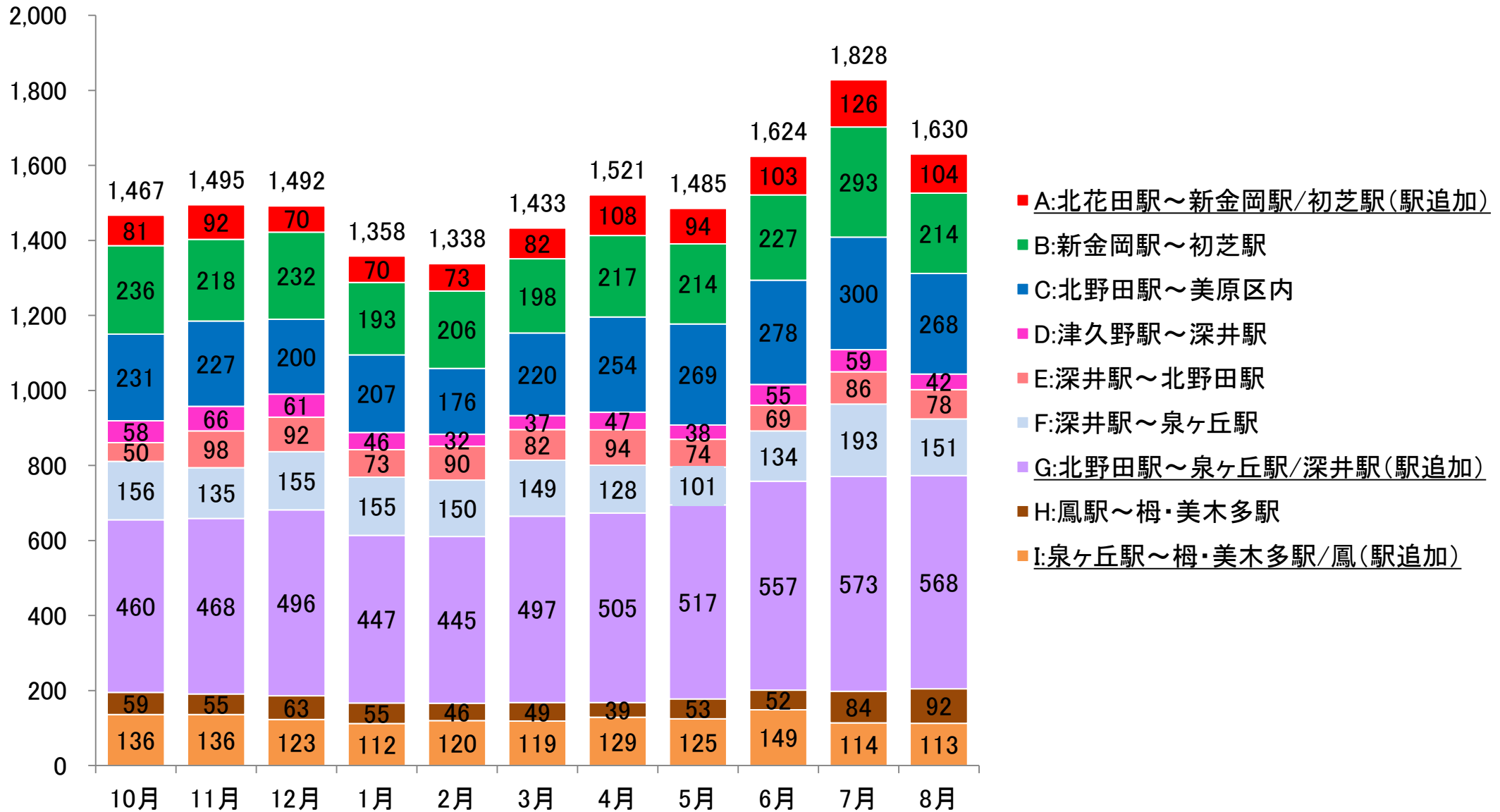
■ 接続駅追加(H28.10.1)後の利用者数

ルート名	利用人数(人)													1台平均 (人/台)
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計	接続駅 追加分	
A:北花田駅～新金岡駅/初芝駅	81	92	70	70	73	82	108	94	103	126	104	899	48 (5.3%)	1.4
B:新金岡駅～初芝駅	236	218	232	193	206	198	217	214	227	293	214	2,234	—	1.5
C:北野田駅～美原区内	231	227	200	207	176	220	254	269	278	300	268	2,362	—	1.6
D:津久野駅～深井駅	58	66	61	46	32	37	47	38	55	59	42	499	—	1.2
E:深井駅～北野田駅	50	98	92	73	90	82	94	74	69	86	78	808	—	1.3
F:深井駅～泉ヶ丘駅	156	135	155	155	150	149	128	101	134	193	151	1,456	—	1.5
G:北野田駅～泉ヶ丘駅/深井駅	460	468	496	447	445	497	505	517	557	573	568	4,965	399 (8.0%)	2.0
H:鳳駅～榎・美木多駅	59	55	63	55	46	49	39	53	52	84	92	555	—	1.3
I:泉ヶ丘駅～榎・美木多駅/鳳	136	136	123	112	120	119	129	125	149	114	113	1,263	189 (15.0%)	1.3
合計	1,467	1,495	1,492	1,358	1,338	1,433	1,521	1,485	1,624	1,828	1,630	15,041	636	1.6
1日平均(人/日)	47.3	49.8	48.1	43.8	47.8	46.2	50.7	47.9	54.1	59.0	52.6	49.5		

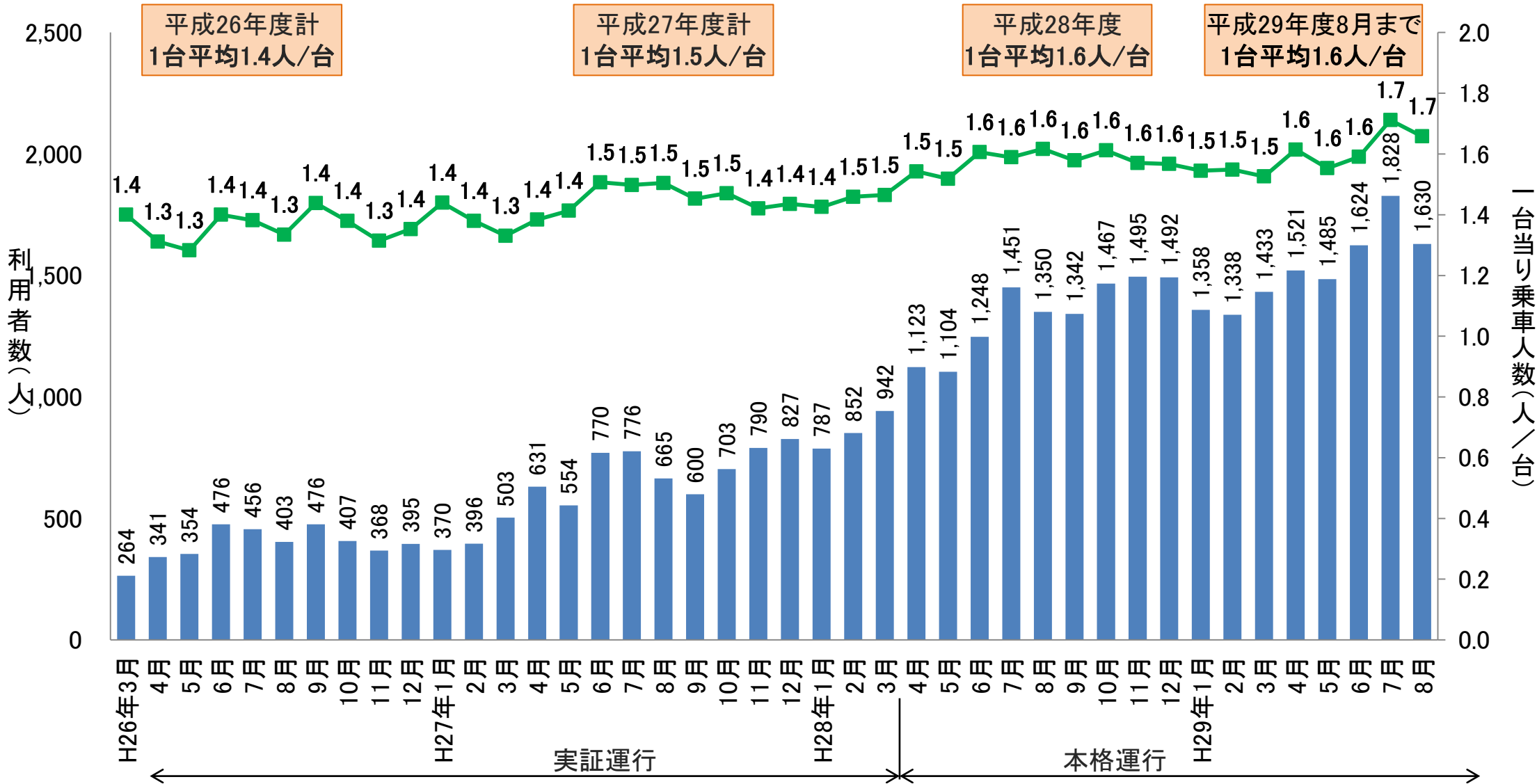
■ 利用状況

- 運行改善や周知等により利用者は年々増加しており、接続駅追加後も増加している。
- Aルートで5.3%、Gルートで8.0%、Iルートで15.0%の方が、追加駅を利用している。

■ 接続駅追加(H28.10.1)後の利用者数



■ 1台当り平均利用者数の推移



・ 1台当たり平均利用者数は、平成26年度1.4人/台から、平成29年度8月までで1.6人/台と余り伸びていない。

■利用者の声

- ・ 自宅付近や目的地付近に**停留所を新設・移設**してほしい
- ・ 2時間に1本 ➡ 1時間に1本に増やしてほしい
- ・ 今より早い(遅い)時間帯に運行して欲しい
- ・ 締切を2時間前まで ➡ 1時間前まで受け付けてほしい
- ・ 第1便の締切を前日18時まで ➡ 当日の朝まで受け付けてほしい

など

■ 運行改善の方向性

制度目的

公共交通空白地域における日常生活を支える移動手段の確保

これまでのルート設定の基本的な考え方

- 医療施設や商業施設等は駅周辺を中心に立地している傾向があるため、駅アクセスを確保することで一定の生活サービスを享受することが可能
- 交通結節点である駅アクセスを確保することにより、既存の公共交通ネットワークに連結する交通サービスとなり、広域的な移動の支援が可能

公共交通空白地域における駅アクセスに特化したルートを設定

■課題

- これまでの運行改善や周知等により制度の利用者数は年々増加し、公共交通空白地域の方の移動手段として定着してきている。しかしながら、利用状況のうち、

1台当たりの平均利用者数は1.6人（平成28年度） と少ない。



1台の車両に乗り合わせて利用してもらえるような工夫が必要

■ 運行改善の方向性

現契約期間内の運行改善の方向性

- ① 公共交通空白地域の停留所設置要望については、これまでどおり対応を検討
 - ・ 大幅なルート延伸を伴わない範囲で設置を検討

- ② 公共交通空白地域から、家族や友人同士で出かけたり、不特定多数の人が同じ時間帯に訪れたりする場所への停留所の設置を検討
 - ・ 現在のルート沿線にあるが、既存乗合タクシー停留所からアクセスしにくい場所で、かつ公共交通空白地域に在住の方がよく外出している場所や要望のある場所等を沿線アンケートや利用者の声からリストアップ
 - ・ 大幅なルート変更を伴わない範囲で設置を検討
 - ・ 公共交通空白地域の方の移動手段という目的のため、駅からの利用はできないものとする。

■運行改善に向けたスケジュール(予定)

平成29年10～12月 具体的な停留所新設候補地の検討



- 現地確認
- 委託事業者、関係機関、地元等協議 など

停留所新設候補地の確定



平成29年度中 地域公共交通会議で合意



- 事業計画変更認可手続き
- 停留所設置準備
- 運行改善内容の周知・広報 など

平成30年度 春・夏頃 運行改善を反映